



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA
～感謝を込めて～



ピアノ：北村 朋幹
Piano : Tomoki Kitamura

第19回
広島交響楽団
廿日市定期演奏会
オーケストラが織りなすファンタジー



指揮：現田 茂夫
Conductor : Shigeo Genda

©K.Miura

Program

ショパン

ピアノ協奏曲第2番へ短調 Op.21
Chopin: Piano Concerto No.2 in F minor Op.21

リムスキー=コルサコフ

交響組曲「シェエラザード」Op.35
Rimsky-Korsakov:
Symphonic Suite "Scheherazade" Op.35

※**さくらぴあ文化ホール さくらぴあ大ホール**

2016年4月24日 [日] 15:00開演 (14:30開場)

入場料 **全席指定 (税込)** S席3,700円/A席3,200円/B席2,700円/学生席1,500円 (B席のみ)

*未就学児の入場はご遠慮ください。*学生席はさくらぴあ事務室、広響事務局のみの取り扱いで、割引はありません。

チケット発売日 | さくらぴあ倶楽部会員 / 1月10日 [日]、一般 / 1月17日 [日]

さくらぴあ倶楽部会員 / 購入額の5%分ポイント加算 (さくらぴあでご購入の場合)

広響会員 / 1割引 (さくらぴあ事務室、広響事務局のみ。当日の割引はありません)

ちゅーピーくらぶ / 1割引 (中国新聞社読者広報部、さくらぴあ事務室、広響事務局のみ。当日の割引はありません)

プレイガイド | エディオン広島本店、フジグランナタリー、さくらぴあ事務室、ローソンチケット (Lコード64788)、
チケットぴあ (Pコード284-383)、中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所 (取り寄せ)、広響事務局

■主催：公益財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団、公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

■特別協賛：中国電力 ■後援：廿日市市、廿日市市教育委員会

お問い合わせ / さくらぴあ事務室 ☎0829-20-0111、広響事務局 ☎082-532-3080

[アクセス] 広島宮島線「廿日市役所前」駅から徒歩7分 ※駐車場には限りがあります。ご来場は公共交通機関をご利用ください。

広島交響楽団

第19回 廿日市定期演奏会

オーケストラが織りなすファンタジー

若手実力派ピアニスト北村を迎えて、ピアノの詩人ショパンのコンチェルトを、そして、アラビアン・ナイトをテーマに作曲された「シェエラザード」で現田によるファンタジーの世界をお楽しみください。

指揮 現田 茂夫 Shigeo Genda, Conductor

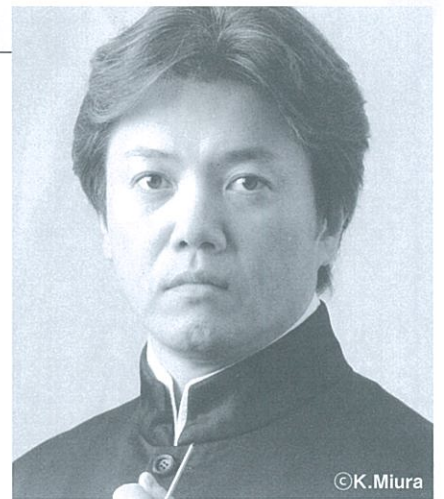
東京生まれ。東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京藝術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。

86年二期会オペラ「ヘンゼルとグレーテル」でオペラ・デビュー後、「こうもり」等で二期会オペラで活躍する一方、オーケストラコンサートでも実績を積み。

96年より13年間神奈川フィルハーモニー管弦楽団を指導し飛躍的に躍進させ、その功績も称えられ2009年より名誉指揮者の称号を得る。他の主要オーケストラとも数多く共演し好評を得ている。また、世界的チェリスト故ロストロポーヴィチと皇后陛下の古希祝賀コンサート等で共演し高い評価を得た。

オペラ指揮者としても経験豊かで、関西二期会、東京二期会を中心に数多くの公演を行なっている。「佐藤しのぶドラマチック・リサイタル」(全国ツアー)、「夕鶴」のタジキスタン/ウズベキスタン/東京公演、「天守物語」等、日本のオペラも積極的に行なっている。04年秋にはスロヴァキア国立歌劇場の「椿姫」を指揮し、好評を博した。02年からは錦織健プロデュースオペラの音楽監督も努め2年ごとに全国公演。11年にアンサンブル金沢と金沢歌劇座・兵庫県立芸術文化センター他(5都市6公演)で「椿姫」の公演。13年には市川右近演出「夕鶴」の全国公演も行い好評を得、本年に再演が決まっている。

また、ベドロツェティ国際指揮者コンクール(イタリア)の審査員や、NHK-FMラジオのパーソナリティを3年間務めるなどバラエティにとんだ活動を行なっている。



©K.Miura



ピアノ 北村 朋幹 Tomoki Kitamura, Piano

1991年愛知県生まれ。3歳よりピアノを始め、エトリンゲン国際青少年のためのピアノコンクール(ドイツ)、浜松国際ピアノコンクール、シドニー国際ピアノコンクール(オーストラリア)などで入賞。2005年第3回東京音楽コンクールにおいて第1位ならびに審査員大賞(全部門共通)を受賞。

これまでに「東京の夏」音楽祭や「中之島国際音楽祭」、「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン音楽祭」などの音楽祭に出演、国内外での活躍を重ねている。読売日本交響楽団、東京交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団などの定期演奏会に出演するほか、シドニー交響楽団や国内外の主要オーケストラと共演。近年は室内楽にも積極的に取り組んでおり、また古楽器の演奏会にも多数出演している。

その他、テレビ朝日系「題名のない音楽会」やNHK「びあのピア」NHK-FM「名曲リサイタル」などにも出演。

2011年にはデビューCD、「遙かなる恋人に寄す—シューマン「幻想曲」からの展望—」が、2014年には第二弾CD「夜の肖像」(共にフォンテック)が発売され、好評を得ている。

愛知県立明和高等学校音楽科を経て東京藝術大学に入学、11年よりベルリン芸術大学に在学し、現在ピアノ科及び古楽科に在籍。ライナー・ベッカー、伊藤恵、エヴァ・ボブウツカの各氏にピアノを、ミツツイ・メイヤーソン氏にチェンバロ及びフォルテピアノを師事。

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中・四国唯一の常設プロオーケストラ「広響」は、1998年に日本を代表する指揮者である秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。日本各地はもとより、ウィーン、ブラハ、ルーアン、ル・アーブル、サンクトペテルブルク、ソウル、プサン、テグなどで公演し好評を博す。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバー・シリーズをはじめ、移動音楽教室、「マイタウンオーケストラ広響」、「音楽の花束」名曲シリーズを開催。他に、文化庁からの指定を受け全国各地を巡回する学校公演や、各種依頼公演、小編成によるアンサンブルを含むと年間約140回に及ぶ公演を行っている。2001年度から文化庁の助成を受け、我が国の芸術水準向上と地域の文化を牽引する芸術団体として、今後一層の活躍が期待される。2011年4月より公益社団法人としての認定を受け、学生インターンシップの受け入れや、各種ワークショップ、講義、楽器教室やセミナーのほか、全国から注目を集める「P3HIROSHIMA」として広島東洋カープ、サンフレッチェ広島とのコラボレーションによる幅広い地域社会貢献活動を行い「音楽の芽プロジェクト」として発信している。

